

---

---

# **学校における食育の推進に向けて**

## **食育 実践事例集（第2集）**

---

---

平成20年3月  
広島県教育委員会

## はじめに

学校における食に関する指導では、近年の子どもたちの食を取り巻く環境のめまぐるしい変化に対応し、児童生徒が自らの健康を保持増進していくことができる能力を培っていくことが重要であり、これまでのように単発的に教科等の授業で指導を行うだけでは不十分となってきています。

このため、県教育委員会では、学校における食育推進を支援するため、本年度は県内全小学校を対象とし、食育推進リーダーを養成するための研修会を年間3回にわたり開催しました。

その結果、県内の各小学校では、校長のリーダーシップの下、栄養教諭や食育推進リーダーを中心とし、教職員が連携・協力しながら、給食の時間、各教科等において組織的、計画的、系統的な指導を行う食育推進体制が整いつつあります。

今後、各学校の実状に応じた創意工夫あふれる取組みが、学校の教育活動全体を通じて、より積極的に行なわれることを期待しているところです。

これと並行し、本県では、文部科学省の食育推進事業の委嘱を受け、平成16年度から広島市、大竹市、平成17年度からは東広島市が加わり、学校における食育推進に着手してきました。本年度からは、新たに呉市、竹原市、三原市、庄原市の4市が指定を受け、合せて7市において、食育推進のための先進的な取組みが推進されているところです。

この食育推進地域の実践中心校には、本年度10名の栄養教諭を配置したところであり、学校と家庭や地域が一体となった食育推進のための取組みが進められています。

実践中心校では、栄養教諭を中心とし、日々の学校給食に地元産の食材を使ったり、地域に昔から伝わる郷土料理を献立に取り入れるなど、魅力ある学校給食の提供に努めるとともに、その学校給食を生きた教材として活用する食に関する指導等を積極的に展開しています。こうした指導により、児童生徒は、食材を通して地域の自然や文化、産業等に関する理解を深め、生産等に携わる方の努力や食への感謝の気持ちを持つようになってきています。このように、栄養教諭を中心とした1年間にわたる取組みにより、児童生徒はもとより、保護者の食に対する意識も高まってきており、児童生徒の食をはじめとする生活習慣の改善が図られています。

この実践事例集は、昨年3月に作成した第1集に続き、第2集として本年度から取組みをスタートさせた推進地域の実践中心校の取組みをまとめたものです。

各学校や市町教育委員会においては、本書を各学校の実状に応じて活用していただき、学校における食育の一層の充実を図っていただきたいと思います。

終わりに、本実践事例集の作成に御協力いただきました学校並びに関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

平成20年3月

広島県教育委員会教育部  
指導第三課長 平盛 吉昭

---

## 目 次

---

### 小学校における実践事例

吳市立吉浦小学校	2
竹原市立竹原西小学校	4
三原市立三原小学校	6
庄原市立西城小学校	8

### 中学校における実践事例

広島市立伴中学校	10
----------	----

### 参 考

食に関する指導の全体計画（中学校）例
食に関する指導の年間指導計画（中学校第1学年）例

# 実 践 例